

平成24年台風16号洪水における吉野川本川(早明浦ダム、池田ダム)の洪水調節効果について

台風16号により9月13日18時から9月18日10時までの流域平均総雨量は、早明浦ダム上流域で414mm、吉野川上流域では317mmを記録しました。

この降雨による洪水に対し、早明浦ダム・池田ダムでは洪水調節を行い、下流の被害軽減に努めました。

●吉野川本川において以下の洪水調節を行い下流の洪水による被害を軽減しました。

ダム名	早明浦ダム	池田ダム
最大流入量	2,095m ³ /s	5,516m ³ /s
最大流入時放流量	1,188m ³ /s	5,285m ³ /s
最大流入時調節量	907m ³ /s	231m ³ /s

もしダムがなかった場合には、早明浦ダム下流の本山橋(本山町)地点で1.49m、三好大橋(三好市井川町)地点で0.72mさらに水位が上昇していたと想定されます。

平成24年 9月18日

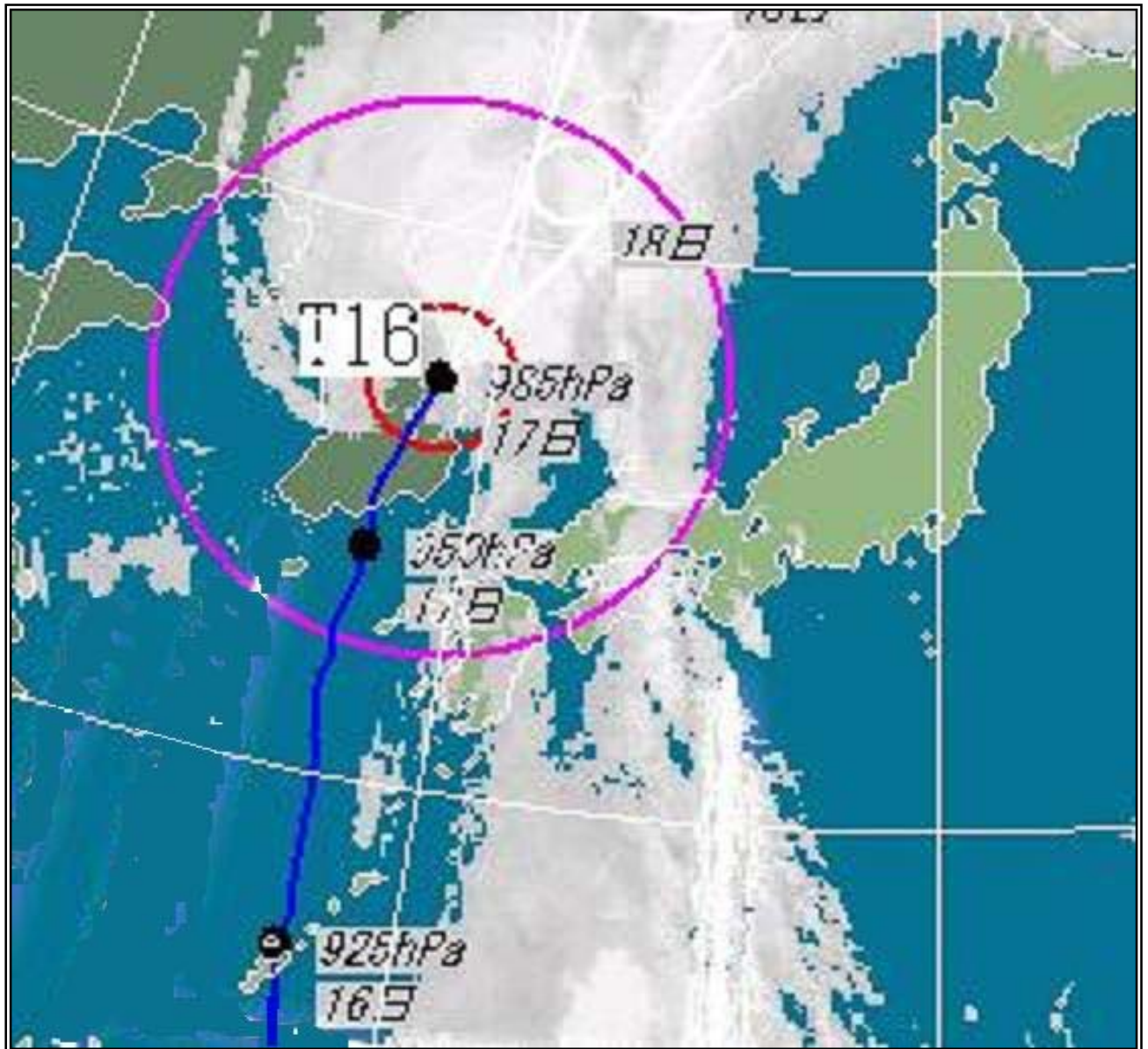
国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所

お問い合わせ先

国土交通省 吉野川ダム統合管理事務所
管理課長 笠井 博之 (内線331)
(TEL) 0883-72-3000
独立行政法人 水資源機構 池田総合管理所
第一管理課長 中園 孝介 (内線331)
(TEL) 0883-72-2050

台風状況

太平洋沖で発生した台風16号は13日夜、大型で猛烈な台風が発達し、フィリピンの東海上を北上した。16日午前、沖縄本島を通過した後、鹿児島県奄美群島の沖永良部島の南西の海上を北上し、17日正午には朝鮮半島に接近した。台風周辺の湿った空気が流れ込んだため、九州や四国、東海など台風から離れた地域でも断続的に激しい雨をもたらした。



降雨状況

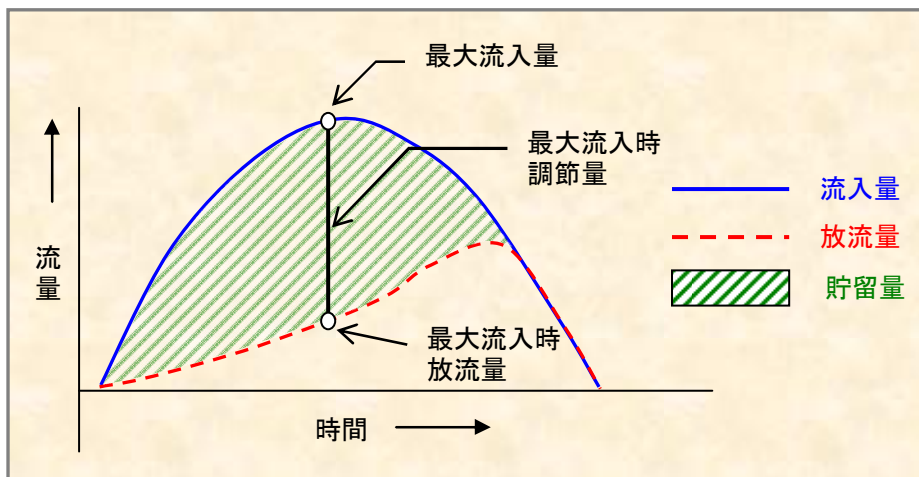
◆ 吉野川における流域平均雨量 ◆

	吉野川 (早明浦上流域)	吉野川 (早明浦下流域)		吉野川 (池田全流域)	祖谷川 (祖谷川流域)
降り始め	9月13日18時	9月16日04時		9月14日17時	9月16日01時
総雨量(mm)	414 mm	289 mm		317 mm	261 mm
時間最大雨量	9月17日 13時～14時 58 mm	9月17日 11時～12時 32 mm	9月17日 14時～15時 32 mm	9月17日 15時～16時 88 mm	9月17日 15時～16時 88 mm
時間最大雨量観測所	長沢	西峰	立川	谷道	谷道

ダム諸量

	早明浦ダム	池田ダム
洪水流量	800 m ³ /s	5,000 m ³ /s
最大流入量	2,095 m ³ /s	5,516 m ³ /s
観測時間	9月17日15時40分	9月17日18時40分
最大流入時放流量	1,188 m ³ /s	5,285 m ³ /s
最大流入時調節量	907 m ³ /s	231 m ³ /s
ダム貯留量	3,208 万m ³	—

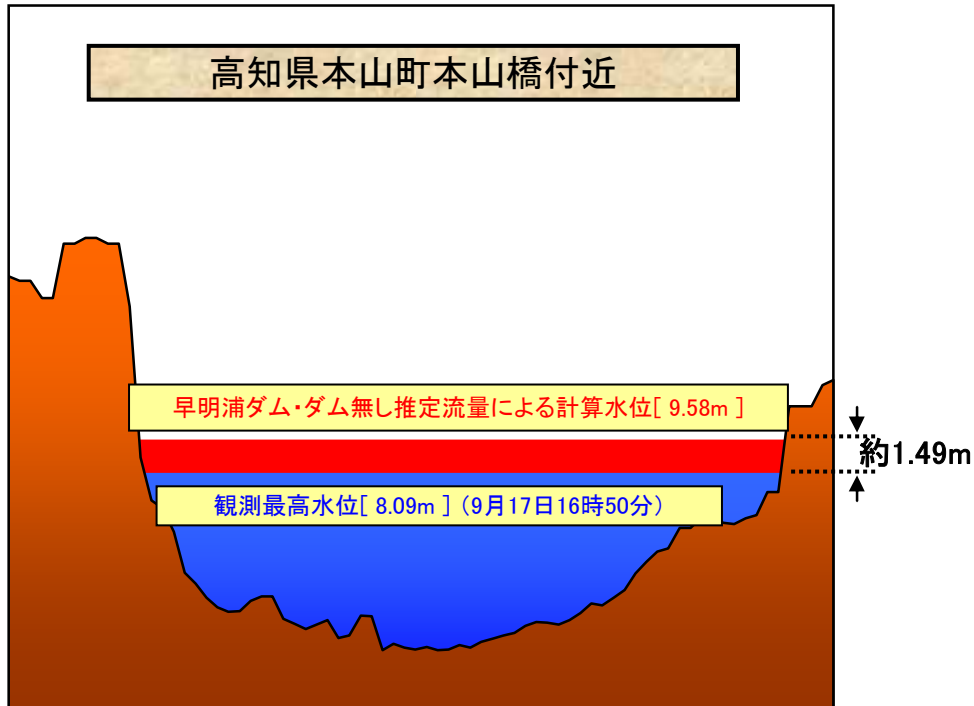
注1) 最大流入時とは下図の通り



ダム最大流入時の洪水調節効果

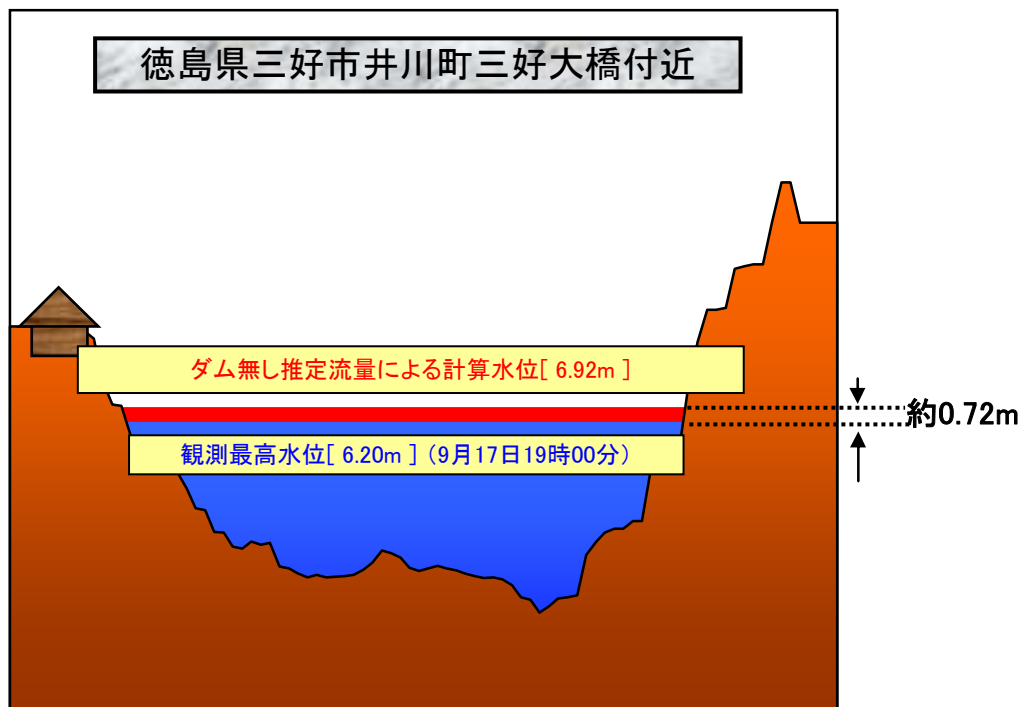
■本山橋付近（高知県本山町）

※川幅約150mの河川に対し約1.49mの水位低減が図れた。



■三好大橋地点（徳島県三好市井川町・三好大橋付近）

※川幅約200mの河川に対し約0.72mの水位低減が図れた。



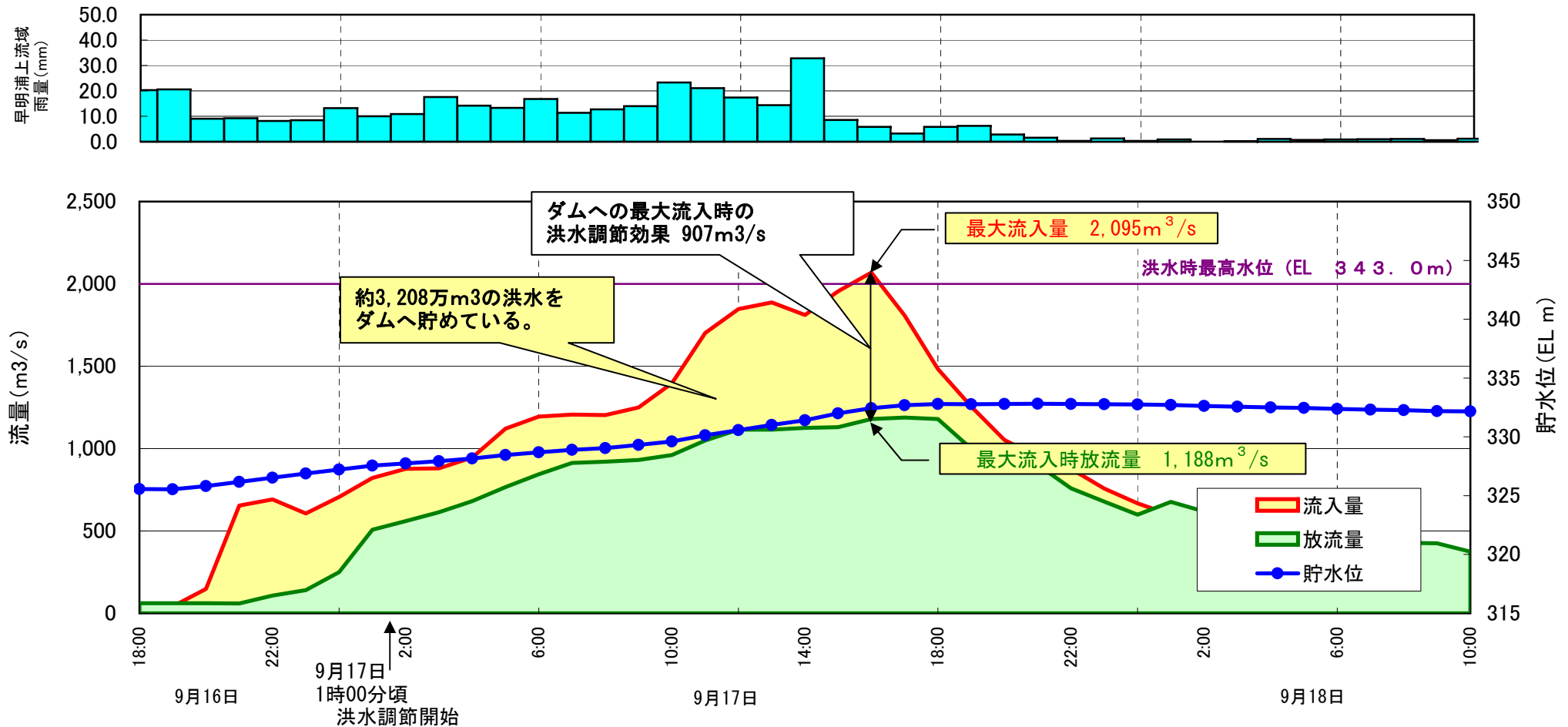
・吉野川 早明浦ダム（高知県）

早明浦ダム諸元（洪水期）

総貯水容量：31,600万 m^3

洪水調節容量：9,000万 m^3

吉野川水系吉野川においては、早明浦ダムで907 m^3/s
 （最大流入量2,095 m^3/s →放流量1,188 m^3/s ）
 を調節しており約3,208万 m^3 の洪水を貯留し、下流の水位低減に寄与した。



・吉野川 池田ダム（徳島県）

吉野川水系吉野川においては、池田ダムで $231\text{ m}^3/\text{s}$ （最大流入量 $5,516\text{ m}^3/\text{s}$ → 放流量 $5,285\text{ m}^3/\text{s}$ ）を調節しており、下流の水位低減に寄与した。

池田ダム諸元

総貯水容量 : $1,265\text{ 万 m}^3$

洪水調節容量 : 440 万 m^3

